

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

地域の概要



西町はさつま町では市街地ではあるが、地域住民の高齢化率は35.5パーセントとなり、日常生活上の支援に、課題を有する高齢者世帯も増えている状況である。



取組のきっかけ

民生委員の研修で三重県四日市市の社会福祉法人青山里会へ行き、地域の高齢者等とボランティアを繋ぐ活動「ちょっと手を貸して運動」を視察し、地域支え合い推進員の活動ヒントを得て、とりあえず公民会で話し合ってみることになった。

取組の目的

- 買い物困難な方への支援
- 地域での支え合い活動の推進

これまでの経緯

年・月	出来事
平成28年10月	民生委員の研修で三重県四日市市の社会福祉法人青山里会で実施されていた地域の高齢者等とボランティアを繋ぐ活動「ちょっと手を貸して運動」を視察した。
平成28年11月	第1回 役員会を公民会長宅で開催した。 第2回 メンバーに班長を加えて話し合った。
平成29年3月	第3回 ふれあいサロンで役場の生活支援コーディネーターを招いて説明を受けた。 第4回 公民会の総会で住民80名ほどに説明をし、承認を得た。
平成29年4月	地域支え合い推進員の年4回の会議で総合事業や支え合い推進員について研修を受けた。
平成30年4月	さつま町の在宅福祉アドバイザーが地域支え合い推進員として役職一元化が決定した。生活支援型の訪問型サービスはまだ行わないことになった。
平成30年6月	西町福祉会議で町内の住民主体の生活支援活動を行っている事例や西町の要援護者、活動に係る保険の資料等をもとに話し合いを行い、団体名、料金体制、活動時間・内容を決定した。
平成30年8月	「西町ささえあい隊」が設立し、総合事業は行わないことにした。

活動の概要

〔支援内容〕

買い物、病院付き添い、公共機関付き添い、住居の修理等

〔頻度・利用人数・利用者負担〕

- 月に3件程度
- 利用料金は会員登録制で協力会員・利用会員とも年間1,000円

〔活動に関わった人・団体〕

元民生員の発起人、自治会、役場、社会福祉協議会

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 生活支援団体活動事業補助金の創設・既存団体への説明・交付申請受付・補助金交付 等

〔SCとしての役割〕

- 規約の例示
- ボランティア活動保険の手続支援
- 活動上の相談・支援
- 活動の普及・啓発

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 買い物に支援が必要な方の支援につながっている。
- 通院の付き添いにも対応できている。

〔課題〕

- 今から来てほしいというニーズへの対応が難しい。
- 一度に何ヶ所も立ち寄られる方の対応に時間がかかる。
- 公民会での活動なので、公民会未加入者への対応ができない。